

# 会 議 録

会議名	佐久市公民館運営審議会
日時	令和2年8月28日(金) 午後3時～午後4時50分
場所	佐久市市民創錬センター 大会議室
出席者	審議会委員 17名中3名欠席 (依田よし子委員・依田誠一委員・土谷豊委員) 市(事務局): 榑澤教育長、三浦社会教育部長、柳澤中央公民館長、佐々木事務長、吉澤浅間公民館長、小澤野沢公民館長、浅川中込公民館長、小井土東公民館長、荻原臼田公民館長、磯貝浅科公民館長、高橋望月公民館長、清水、小川
【主な内容】	
<b>会議事項</b>	
<b>(1) 令和元年度参加者アンケート調査報告書について</b>	
委員	・ 臼田のステンドグラス教室に参加した。人数が多いということで午前午後に分け、3密を避けるため換気もしながら行われていた。夏休みの良い思い出になったと思う。
事務局	・ 子ども公民館に関しては、当初、コロナ禍の影響で夏休みが短くなると、学習のほうが大変なので中止しようかという思いもあったが、子供たちの居場所づくりということで例年の3分の2程度の講座数とはなったが、多くの皆さんに参加いただいた。
<b>(2) 令和2年度上半期事業報告について</b>	
委員	・ 臼田の俳句教室に参加した。コロナ禍で出席率はどうかなと思っていたが、皆さん教室を楽しみに参加している様子がよく分かった。作品も大変良いものがあり、勉強させていただいた。コロナ禍にあってもこのような講座があることは、高齢者にとって大変ありがたいと感じた。
委員	・ 別冊資料18ページ、3密を避けるための換気について、無窓部屋の換気はどのようにしていけばよいか。公民館にもいくつもそのような部屋がある。
事務局	・ 17ページ、臼田地区公民館のつどいの中止理由は台風となっているが、 ・ 無窓部屋については、換気扇を使っていただくことと、定期的にドアを開けてご対応いただきたい
委員	・ 臼田地区のつどいは、新型コロナによる中止であり、訂正します。
事務局	・ 換気扇を回せば空気がきれいになるということでよいか。 ・ 強制的に部屋の中の空気を外に出し、廊下などから空気を入れ替える、という認識でおります。ただ、ドアを開けないと効率が悪いので、時々あけていただくことをお願いしたい。
会長	・ 委員が日ごろ合唱などを指導していて、公民館に何か要望がありますか。
委員	・ 広い部屋をお借りして練習しているが、広い部屋の数は限られているため、希望の時間にできないことがあり、グループ同士協力しながらやっている。コーラスは一番制約が多く、苦労してやっている。
会長	・ 貸している側の館長さんから、何かありますか。
事務局	・ ピアノがある部屋は限られており、収容人数は通常の4分の1となるので大きい部屋を使っていただいている。窓がないのでエアコンを入れてドアを開けたままにし、30分に1度は、休憩で外に出ていただくようお願いしている。あまり顔も出せないが、たまに見に行くと密集しているところを見かけることはあり、引き続きご協力をお願いして行きたい。
委員	・ 災害時には公民館施設も避難所として開けることがあると思うが、去年の台風の時、地元の地域公民館も使用した。城山小学校に行ったところ一杯で入れず、佐久平のほうへ行った人もいたと聞いている。今後、公民館施設

- 事務局
- を避難所とする場合、コロナに対応した避難可能な数等は想定しているか。
  - 台風19号では、浅間会館、中込会館、駒の里ふれあいセンター、市民創錬センターに相当数の方が避難された。各学校も避難所として開設したが、必ずそちらへ行けるとは限らないし、とりあえず避難しなければという状況のなかで、公民館にも多くの方が来られた。
  - コロナ禍での対応は市全体の災害対策として大きな課題であり、先日は職員対象の避難所開設訓練が実施された。危機管理課を中心に、対応マニュアルを詰めて準備を進めている状況。今までと違う避難所運営が求められている。

### (3)令和2年度下半期事業計画(案)及び令和3年度事業計画(案)について

- 委員
- ・3年度の事業計画を見ていて、参加してみたいと思う魅力的なものがたくさんあった。一方で、現在、コロナウイルスに感染しただけで差別されてしまうという大きな問題がある。人間の心理に焦点を当てるような講座が必要ではないかと感じる。
- 事務局
- ・公民館では、人権教育に関する講座も長期的な視野で進めている。11月に野沢公民館で人権講座を予定し、コロナ禍での事象もとらえながら行う。単発でなく、定期的に行っていくことが必要と考えている。
- 委員
- ・人権同和教育を進めていく中で、コロナウイルスが流行りだした頃懸念していたことが現実になっている。医療従事者に対する差別意識も表面化している。各区を回っていて、区長が対応するところと、地域公民館長が対応するところがあるが、公民館長が中心になって取り組んでいるところは、浸透がよい。地域公民館長の方々にも、お話しできる機会があるとよい。
- 会長  
委員
- ・今後に向けた大きな課題であると思う。
  - ・17ページ、生涯学習リーダーバンクについて、昨年度どのくらい活用されているか。
- 事務局  
委員
- ・指導者からの報告によれば、年間で延べ1,000件程度の実績がある。
  - ・公民館活動をあまり理解していなかったが、このようにたくさん実施されていることに驚いた。その中で、成人式について、自分の子供も2、3年前に参加したが、コロナ禍での開催について、代替案があればお聞きしたい。
- 会長
- ・成人式については、総合文化祭と合わせ、意見交換をしていきたい。

### (4)意見交換

- 事務局
- ・成人式については、これまで、県立武道館の主道場で開催を計画してきたが、今年度の参加者が約800名と見込まれ、県からは「感染者が多数発生している地域との往来に当たっては、往来そのものを慎重に検討すべき」との指針が出され、またここへきて上田市や、周辺の市町村で感染者が出ている状況から、県外の方にもご案内し800人が一堂に会して行うということは難しいというところまでは考えとしてあるが、そこから先、どうやって開催していくかはまだ白紙の状態である。委員の皆様方もアイデアやご意見を頂ければありがたい。いずれにせよできるだけ早い段階で、皆様に方針をお示しする必要があると考えている。
- 委員
- ・故郷の良さを改めて認識してもらうための大切な機会であると思う。延期して別の時期に、場合によっては収束が見えた時期に次の学年と合わせて行う方法もある。また、大学に行っても孤立している子供たちもおり、セキュリティや技術的な問題はあると思うが、顔を合わせる機会をオンラインでも提供できれば素晴らしいと思う。
- 委員
- ・延期したとしても開催できるのか、また県外に多くの人が出ていることから非常に難しいところがある。成人式の意義は、成人になったという自覚、社会の一員として日本、佐久を背負っていくという自覚をもらうことである。
  - 集まるのが難しければ、市長のメッセージ、意見発表などを、ケーブルテレビにも協力してもらい、収録してDVDにして、佐久の名産とかパンフレットでもよいが、一緒にして贈ってはどうか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期的なものもあるが、総合運動公園で開催するという方法もあるのでは。</li> <li>・ 総合文化祭に出す作品が部門によってできないところもあると思うが、作品が出せないと開催が難しいのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動自粛や臨時休館で、通常の創作活動ができない状況も見られる。昨年の総文祭が台風で中止になっていることもあるので、昨年出せなかったものでもよいので、皆さんに見ていただく機会として活用していただければと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総文祭については、武道館に見学に行ったり、コロナ対応を考えているが期間を延ばすといった方法が有効であれば、発表の機会を設けることはよいと思う。ただ、何よりも命が大事なので、場合によっては中止もありうるかと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上で会議事項は終了します。</li> </ul>